

復興のゆくえ ... 沿岸被災地の農業・水産業を中心に

1.どこに向けての復興か? ... 「被災前」の復旧でよいのか?

- ・今回の被災地域は、太平洋沿岸の水産・農業地帯が中心。
- ・震災前の状況... 国土幹線からはずれ、90年代以降、人口減少、少子高齢化、産業の縮小に直面 ⇒ 単なる「復旧」では、地域社会・経済の縮小は防げない。
- ・他方、厳しい中で存続していたものこそ、地域に最も根付いたものといえる面も ⇒ 本来の地域性をふまえつつ、何を守り、何を棄て、より良い地域をつくるか?
- ... つまり、地域の創造的復興が必要。

・沿岸部の水産業・農業の構造... 低生産性、低収益、低付加価値、企業化の弱さ、担い手高齢化... といった問題を、この機会に同時に克服しうる復興こそ!

⇒ 自治体・省庁(農林水産関係)の復興計画の共通コンセプト

- ①高生産性... 共同化、集約化、大規模化、施設化(農)... 企業の経営へ
- ②高付加価値、高収益... 直売、契約出荷、加工・販売... 6次産業化 + 連携・交流... ツーリズム、オーナー制
- ③省エネ、エコ重視... 自然エネルギーの活用、「環境」のブランド化

東北農政局「仙台東地区復興計画」2011.11

①「農地の大区画や集約」に向けた取り組み

- 被災した農地や農業用施設の早期の復旧に取り組みます。
- 地域の特性に応じた区画の大規模化や農道の拡幅、水路のパイプライン化などを検討します。
- 農地の再整備と併せ、集落営農組織や農業法人などに円滑に集約するため、農地の貸し借りや売買などの農地管理を実施する機関の創設を検討します。

②「法人化などの農業経営の見直し」に向けた取り組み

- 既存の組織経営体の育成・発展を支援します。
- 生産性の向上や競争力強化等の観点から、民間企業等との連携・協働による新たな経営体を育成します。
- 農業従事者とマーケティング等のノウハウを有する専門家とのマッチングなどを推進し、将来の農業を先導していく農業経営を育成します。

③「市場競争力のある作物への転換や6次産業化への促進」に向けた取り組み

- 意欲ある農業者の経営転換や参入希望の民間資本等を募り、野菜や花きなどを対象とした栽培施設整備を促進します。
- 生産施設と一体となった加工工場や物流施設などの関連事業の集積に向けた環境整備を進め農産物の高付加価値化や収益方向上を支援します。
- 大学や研究機関・企業等と連携し、共同プロジェクトを推進することにより、農業生産や加工、商品化、販売などに関する新しいモデルを創出します。

宮城県復興計画 2011.8.18最終案

農林業 共同作業に支援金交付

被災した農地・水産業... 共同作業に支援金を交付する。被災した農地・水産業... 共同作業に支援金を交付する。被災した農地・水産業... 共同作業に支援金を交付する。

水産業 漁港は3分の1に集約

水産業の被災... 漁港は3分の1に集約... 被災した漁港... 漁港は3分の1に集約... 被災した漁港... 漁港は3分の1に集約...

環境・生活 再生エネでエコタウン

被災した地域... 再生エネでエコタウン... 被災した地域... 再生エネでエコタウン... 被災した地域... 再生エネでエコタウン...

水産業の復興メニュー 水産庁(2012.3)「東日本大震災による水産への影響と今後の対応」

水産被害の現状

- 津波で流された漁船
- 被災した水産加工施設
- 被災した防波堤

主な復旧・復興対策

漁業・養殖業の経営再開に対する支援

- 【漁業・養殖業復興支援事業】(3次:818億円、24当初:106億円)
- 【漁船等復興対策】(1次:274億円、3次:121億円、24当初:41億円)
- 【養殖施設災害復旧事業】(1次:267億円、3次:107億円、24当初:11億円)
- 【水産業共同利用施設復旧整備事業(養殖施設、種苗生産施設)】(3次:731億円の内数、24当初:100億円の内数)
- 【被災海域における種苗放流支援事業】(3次:22億円、24当初:21億円)
- 【漁場復旧対策支援事業】(1次:123億円、3次:168億円、24当初:79億円)
- 【漁業経営セーフティネット構築事業】(3次:40億円)
- 【漁業復興担い手確保支援事業】(3次:14億円、24当初:11億円)
- 【漁船保険・漁業共済支払の対応】(1次:940億円)
- 【無利子・無担保・無保証人】23年度融資・保証枠:688億円(24当初:107億円)
- 【放射性物質影響調査推進事業等】(2次:5億円、24当初:5億円)

水産加工流通業の復旧・復興に対する支援

- 【水産業共同利用施設復旧整備事業(加工流通施設)】(3次:731億円の内数、24当初:100億円の内数)(再掲)
- 【水産業共同利用施設復旧支援事業】(1次:18億円、2次:193億円、3次:259億円、24当初:33億円)
- 【水産業共同利用施設復興整備事業】(復興交付金)*

漁港・漁村等の復旧・復興に対する支援

- 【漁港関係等災害復旧事業】(1次:250億円、3次:2,346億円、24当初:77億円)
- 【水産基盤整備事業】(1次:55億円、3次:202億円、24当初:250億円)
- 【水産業共同利用施設復旧整備事業(漁港施設)】(3次:731億円の内数、24当初:100億円の内数)(再掲)
- 【奥山漁村地域整備交付金】(3次:20億円の内数、24当初:6億円の内数)
- 【漁港施設機能強化事業】(復興交付金)*
- 【漁業集落防災機能強化事業】(復興交付金)*

※24年3月2日の第1回配分において、水産業共同利用施設復興整備事業では116億円、漁港施設機能強化事業では11億円、漁業集落防災機能強化事業では57億円が配分額決定済。(金額は交付可能額。今後も、地方公共団体からの事業計画の提出を受け、順次配分される予定。)



2. 誰のための復興か? ... 理想, 現実

・**立場で違う「復興」観**

- ・**官僚** ... 国力回復のための**構造的改革** ⇒ 避けがたい**選別**
- ・**住民** ... **迅速復旧**と**生活再建**を優先
- ・住民の中でも、**世代・職業間で異なる意識, ニーズ, 地元への思い**

・税金に基づく公的補助の**公平性・透明性**の原則が「**制約**」にならない工夫を。。

・公的補助に頼らない「**遠隔共助**」や「**連携**」の**支援ルート**の構築を

3. いつに向けた復興か?

・生活復旧: 3年, 産業復旧: 5年, 構造改革・地域復興: 10年 ...

・現世代だけでなく、**次世代の帰還・定住**に向けた「**夢**」と**実効**ある戦略を

★産業モデルの多くは**全く新しい**というものではない!
⇒**先進事例**に学べ。そして、みんなで学びあう「**学習する地域**」, すなわち真の「**産業地域社会**」の実現こそ!